

「宮崎県障がい者計画」の令和4年度における推進状況（概要版）

1 計画の概要

「宮崎県障がい者計画」は、障害者基本法第11条第2項の規定に基づき、本県における障がいのある人のための施策に関する基本的な計画として、平成30年度に策定（第4次）したものである。

なお、当計画の計画期間は、平成31年度から令和5年度までの5年間である。

基本目標

「障がいのあるなしによって分け隔てられることなく地域でともに生きる社会づくり」

～ 誰もが地域社会の一員として、お互いを理解し、支え合い、自立・活躍できる地域社会の実現を目指して ～

施策の基本方向

- ①自己決定に基づく社会参加を可能とする支援の充実
- ②障がいの特性及び障がい者の生活実態等に応じた福祉・保健・介護・医療サービスの充実

施策推進の視点

- ①社会のあらゆる場面におけるアクセシビリティの向上
- ②地域資源の有効活用・分野横断的な連携による支援
- ③社会生活の充実及び障がいの特性等に応じた多様な自立の支援
- ④安全・安心で充実した生活環境の確保

施策の体系（9項目）

- ①啓発・広報、②生活支援、③教育・育成、④保健・医療、
- ⑤雇用・就業、経済的自立の支援、⑥情報・コミュニケーション、
- ⑦生活・環境、⑧福祉を支える人づくり、⑨行政サービス等における配慮

2 令和4年度における主な取組

	分野別施策	具体的な取組状況
啓 発 ・ 広 報	①差別の解消及び権利擁護の推進	・ 宮崎県障がい者権利擁護センターを設置運営するとともに「宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議」を開催し、障がい者虐待防止に係る市町村等の関係機関との情報共有や連携協力体制を整備。
	②啓発・広報活動の推進	・ 障害者週間（12/3～9）啓発活動（障がい理解のための啓発チラシやティッシュ、福祉施設施設制作物の配布）を実施。

生活支援	①地域における相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所の従事者の養成のための研修（初任者・現任）を実施【修了者137名】。
	②居住の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人等が行う障害福祉サービス事業所（グループホーム等）の施設整備に対する補助を実施【グループホーム新設1件】 バリアフリー化された県営住宅3戸の新たな供用開始及び既存の県営住宅4戸の改善において、室内の段差解消や浴室・トイレへの手摺設置などバリアフリー化の実施とともに、県営住宅の入居者募集における障がい者世帯を優先入居の対象とした入居者選考の実施。
	③スポーツ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> 第21回宮崎県障がい者スポーツ大会の実施【427名参加】及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ」大会への選手派遣【27名】
	④各種障がいへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障がい支援拠点機関において相談支援を実施【相談件数：279件（宮崎県身体障害者相談センター：252件、宮崎大学医学部附属病院：27件）】 高次脳機能障がい者のための通所教室を新たに開所（1教室、全24回）【修了生：4名】
教育・育成	①障がい児支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 在宅の障がい児等の地域における生活を支援するため、「そらだんサポートセンター」を設置し、身近な地域で必要な訓練や相談が受けられる体制を整備【事業実施施設数：13施設（うち3施設は宮崎市所管）、相談件数：2,988件（宮崎市所管施設の市外利用者分を含む）】。 医療的ケア児やその家族の住み慣れた地域での生活を支援するため、医療的ケア児支援センターを新たに設置【相談件数（R4.7～R5.3）：85件】。 医療的ケア児を対象とした短期入所等の新たな実施又は受入人員の拡大を目指す医療機関等に対し、医療機器等の購入や施設整備に要する費用の一部を補助【補助件数：4件】。
	②特別支援教育の視点を生かした学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の教育課題の内容に応じて、大学、関係機関、事業所等の専門家を各学校が選任し、必要な時期に2回程度の訪問を依頼し、教職員と連携しながら、学校の課題解決を図る学校支援アドバイザーの派遣を実施【派遣校（11校）、派遣回数（25回）、外部専門家（18名）】 <p>《活用事例》</p> <p>視覚障がいのある生徒に対する歩行指導について、事業所や歩行訓練士を活用 など</p>

保健・医療	①医療提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 県立延岡病院への出張診療（月1回）や県北巡回相談を実施【（出張診療）受診者数：50名、（県北巡回相談）利用者：154名】
	②（精神医療）緊急医療体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 緊急な医療を必要とする精神障がい者等のための輪番制による精神科救急医療体制を整備【相談・来院件数：519件】。
	③難病患者等への施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 県障がい福祉課及び各市町村の障がい福祉主管課にてヘルプマーク交付【交付数：1,844個】。
雇用・就業、経済的自立の支援	①雇用の場の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 企業と障がい者が就職のための面談を行う障害者ふれあい合同就職面接会（主催：ハローワーク、県）を開催【参加者数286名、企業75社】。 障害者就業・生活支援センターによる相談支援等【支援対象者4,339名、就業面に関する助言10,885件、生活面に関する助言1,574件、職場定着支援2,293件】。
	②一般就労が困難な障がい者への就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援事業所の指定【件数：5件】 就労継続支援事業所に対して工賃向上支援チームを派遣し、工賃向上に係る支援を実施【10事業所】。 みやぎの強みを活かした農福連携等支援事業として、就労継続支援事業所に対して農業の専門家を派遣し技術指導を実施【4事業所】。
情報・コミュニケーション	①意思疎通支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳等派遣事業（手話通訳者又は要約筆記者の派遣）を実施【派遣回数：9回、派遣人数：20人】。
	②バリアフリー施設等の情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 「みやぎアクセシビリティ情報マップ」において、県内施設のバリアフリー情報の追加・更新を実施【追加掲載施設：107件】。
生活・環境	①公共的施設の整備等	<ul style="list-style-type: none"> 県ホームページ等を利用したおもいやり駐車場制度の普及・啓発の実施【令和4年度末時点協力施設数：1,196施設】。
福祉を支える人づくり	①障がい福祉事業等に従事する職員等の養成・確保	<ul style="list-style-type: none"> 奉仕員等養成事業を実施。 点訳奉仕員／県内4地区で実施・修了者数11人 朗読奉仕員／県内3地区で実施・修了者数21人 手話通訳者／県内7地区で実施・修了者数76人 要約筆記者／県内2地区で実施・修了者数5人
行政サービス等における配慮	①行政機関等における配慮及び障がい者理解の促進等	<ul style="list-style-type: none"> 「人にやさしい福祉のまちづくり条例」に定める整備基準に適合した施設に対する適合証の交付【交付数：10件】。